

松前町

# 議会だより

No.117

2023年5月1日発行

愛媛県伊予郡  
松前町議会

3月定例会



3年ぶりのマスクなしでの卒業証書授与式(北伊予中学校)

P 4 一般会計当初予算 約**118億円** 始動

P 6 令和3年度に引き続き**「義農大賞」**の是非を問う討論

P13 一般質問 **4人が町政を質す**

松前町  
議会中継  
[録画]



## 3月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案番号	議 案 内 容
1	業務執行の効率化を図るため、 <b>松前町事務分掌条例の一部を改正します。</b>
2	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により個人情報の保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、 <b>松前町情報公開条例の一部を改正するとともに、個人情報の保護に関する規律が改正後の同法に一元化されるため、松前町個人情報保護条例を廃止します。</b>
3	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により個人情報の保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、同法の施行に関して必要な事項を規定するため、 <b>松前町個人情報の保護に関する法律施行条例を新たに制定します。</b>
4	松前町健康づくり計画推進委員会を松前町健康づくり検討委員会に改称するため、及び松前町通学路安全対策実践委員会を廃止し、教育委員会の附属機関として松前町部活動地域移行検討委員会を新たに設置するため、 <b>関係する条例の一部を改正します。</b>
5	家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準の一部改正を契機に、町の基準を省令で定める基準どおりとするため、 <b>関係する条例の全部を改正します。</b>
6	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正を契機に、町の基準を省令で定める基準どおりとするため、 <b>関係する条例の全部を改正します。</b>
7	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正を契機に、放課後児童支援員の資格要件を除き、町の基準を省令で定める基準どおりとするため、 <b>関係する条例の全部を改正します。</b>
8	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律により子ども・子育て支援法の一部が改正されることに伴い、 <b>松前町子ども・子育て会議条例の一部を改正します。</b>
9	健康保険の出産育児一時金支給額が引き上げられることに伴い、これに準じ国民健康保険の出産育児一時金支給額を引き上げるため、 <b>松前町国民健康保険条例の一部を改正します。</b>
10	道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、町道に係る占用料を改正するため、 <b>松前町道路占用料徴収条例の一部を改正します。</b>
11	松前公園多目的広場の夜間照明施設について、照明の使用の態様に応じた料金を設定し、利用者の利便性の向上を図るため、 <b>松前町都市公園条例の一部を改正します。</b>
12	<b>松前町庁舎空調設備改修工事請負契約(契約金1億1825万円)を締結します。</b>
13	回収が不可能である債権について、 <b>権利を放棄して債権の整理を行います。</b>
14	主に障がい者支援の充実や循環型社会形成の推進のため、 <b>令和4年度松前町一般会計の補正(12回目)として4億1334万9千円を増額します。</b>
15	<b>令和4年度松前町国民健康保険特別会計の補正(5回目)は、国民健康保険税等の減収、同額が繰入金等の増収となり、歳入歳出ともに合計額の増減はありません。</b>
16	後期高齢者医療広域連合納付金減額により、 <b>令和4年度松前町後期高齢者医療特別会計の補正(3回目)として270万1千円を減額します。</b>
17	介護予防・生活支援サービス事業費減額により、 <b>令和4年度松前町介護保険特別会計の補正(5回目)として830万円を減額します。</b>

議案番号	議 案 内 容
18	令和4年度松前町水道事業会計の補正(4回目)として収益的収入982万4千円減額、収益的支出1699万6千円増額、資本的収入及び支出5億5600万円を減額します。
19	令和5年度松前町一般会計予算として117億9351万4千円(前年度比5.5%増)を計上します。既存の経常的経費等について、前年度に増して創意工夫による節減に努めるとともに、選択と集中により、限られた財源をDX推進や地域活性化推進の取組に係る事業のほか、真に必要な事業に重点配分しました。このような厳しい財政状況ではありますが、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応するため、第5次松前町総合計画に掲げられている各種施策に着実に取り組み、「生きる喜び あふれる まち まさき」を目指します。
20	令和5年度松前町国民健康保険特別会計予算として31億3998万7千円(前年度比3.1%減)を計上します。
21	令和5年度松前町後期高齢者医療特別会計予算として5億1659万1千円(前年度比1.7%増)を計上します。
22	令和5年度松前町介護保険特別会計予算として <b>保 健 事 業</b> 29億6810万8千円(前年度比0.3%増) <b>介護サービス事業</b> 1173万8千円(前年度比1.2%増) を計上します。
23	令和5年度松前町水道事業会計予算として <b>収益的支出</b> 4億3471万円 <b>資本的支出</b> 12億4543万円 を計上します。
24	令和5年度松前町下水道事業会計予算として <b>収益的支出</b> 4億1470万4千円 <b>資本的支出</b> 5億5605万3千円 を計上します。
25	松前町監査委員に、安永紀雄氏(西古泉)を再任します。(同意)
26	松前町教育委員会委員に、坪内雅子氏(上高柳)を再任します。(同意)
27	令和4年度松前町一般会計の補正(13回目)として、消防詰所建設は令和4年度に完了が見込めないため、1537万円を令和5年度に繰り越します。また、新型コロナウイルスワクチン接種を引き続き実施するため、令和5年度にも支出(限度額6777万7千円)することとします。
28	新型コロナウイルスワクチン接種は、現行の特例臨時接種の実施期間を令和5年度末まで延長されるため、令和5年度松前町一般会計の補正(1回目)として1億7452万5千円を増額します。
議選 1	伊予市外二町共有物組合議会議員に、久保龍彦氏(南黒田)・岩崎克彦氏(鶴吉)を推薦します。(選挙確定)
議員 選出 議案	新たな個人情報保護法により議会独自の個人情報保護法を整備する必要があるため、 <b>松前町議会の個人情報の保護に関する条例を制定</b> します。

※ 議案番号 19 以外は、全員一致で可決  
(賛否表は P6)

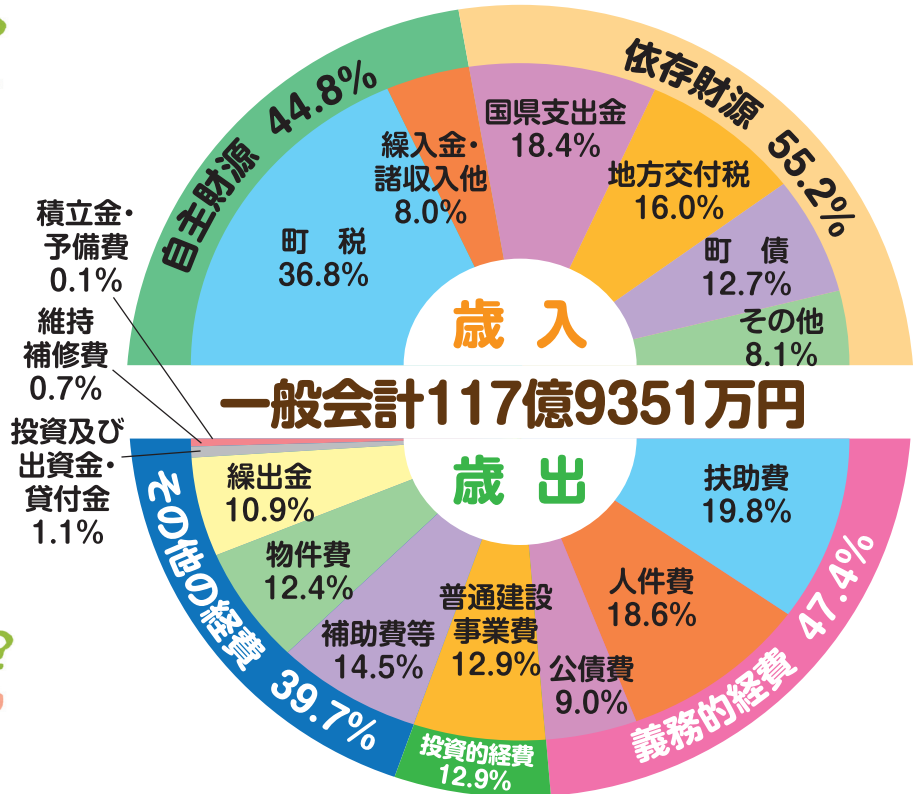
# 一般会計 117億9351万円 始動

(前年度比5.5%増)

## 歳入の状況は？



主要となる税収において、コロナ禍前と比較すると引き続き落ち込みが予想されるものの、前年度よりは回復すると見込んでおり、4339万円増額するようだよ。



## 歳出の状況は？



主に、投資的経費、社会保障関係費が増額することにより、歳出全体で6億1132万8千円増額になっているの。  
財源不足に対応するため、可能な限り地方債を充当するとともに、財政調整基金から3億5000万円の繰入れを行うことで何とか当初予算編成を行ったものの、補正予算以降の財源については、厳しい状況が予想されているの。

## 前年度の性質別歳出予算との違いは？



- 増減率が最も高いものは、
- 投資及び出資金・貸付金で80.8%増。  
これは水道事業に対する繰出金1億2410万円(7990万円増)だよ。
  - 普通建設事業費は、21.2%増。主なものは、
    - ◎庁舎空調設備改修工事1億4200万円
    - ◎松前駅前広場建物等移転補償費1億1093万9千円
    - 第8分団消防詰所建設費1億543万9千円(9055万9千円増)かな。  
改修などは計画的に行っているけれど、新規事業などにより普通建設事業費は年によって大きく増減するのはしかたないことでもあるんだ。
  - 補助費等は、8.6%増。主なものは、
    - 伊予地区清掃センター負担金2億6839万8千円(1億876万3千円増)
    - ねんりんピック負担金1440万1千円(1397万1千円増)
    - ◎学校給食食材費緊急対策助成金1141万1千円かな。

(◎は新規事業)

どんな事業をするの？



第5次松前町総合計画に掲げられている5つの基本施策に着実に取り組み、「生きる喜び あふれる まち まさき」を目指しているの。令和5年度の主な事業は下のとおりよ。(◎は新規事業)

① 安全・安心な生活環境づくり

- ◎学校屋外トイレ防災整備  
(北伊予小・松前小屋外トイレ改築工事)
- 消防団設備の充実強化
- 第8分団消防詰所建設



② 笑顔で暮らせる健康づくり

- ◎保育士確保  
(保育士の登録サイト利用)
- ◎私立保育所等安全対策支援  
(送迎バス安全装置導入支援)
- ◎出産・子育て応援  
(妊娠時: 出産応援金・  
出産後: 子育て応援金)
- ◎まさき健康川柳
- ◎地域敬老事業補助



③ 豊かな心を育む人づくり

- ◎文化センター中規模改修
- ◎地域部活動体制整備
- ◎学校給食食材費緊急支援



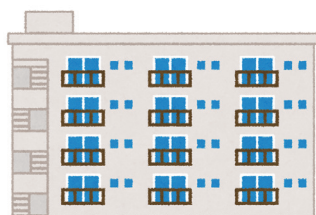
④ 活力あふれるにぎわいづくり

- ◎観光物産振興  
(県内外イベント出店)
- 農水産業・商工業の振興
- まさき町夏祭り支援
- 義農大賞
- 工場等設置奨励  
(雇用・就労環境整備のため、条例に  
基づき東レに対して奨励金を交付)



⑤ 快適で暮らしやすい基盤づくり

- 松前駅前広場整備
- コミュニティバス運行事業費補助
- 旧学校給食センター解体
- 庁舎空調設備改修
- 江川住宅外壁改修



# 最終日 一般会計予算

令和3年度に引き続き

## 義農大賞の是非を問う討論



「義農大賞」に係る予算

(単位:千円)

項目	R3	R5	項目	R4	R6
特設サイト構築運営管理費	1,115	845	表彰式運営費	3,320	3,150
情報発信費	2,910	3,188	情報発信費	660	550
審査委員会運営費	1,186	1,397	能関係費	3,520	3,300
動画作成費	2,888	1,760	小計	7,500	7,000
表彰式開催準備費	538	810	合計	16,137	15,000
小計	8,637	8,000		(R3+R4)	(R5+R6)

反対



伊賀上

令和5年度一般会計当初予算の特に「義農大賞」に対して、三つの点から反対討論する。

前回(令和3年度〜4年度)の町長のトップダウンからの義農大賞事業と比較して、今回は実行委員会を設置して実施の検討をしているが、責任の所在をそらしているのではないかと思えない。

実行委員会への負担金額は、800万円ありきの予算作成であったのではないかと。審査会運営をはじめ、「能」についても前回同様に計画されているが、実行委員会はきちんと事業の詳細を検討した上で計画推進を決めているのか疑問に思える。

5年度と6年度に計画している義農大賞に出す経費1500万円。町財政に余裕がない状況だから、次回の町長選挙後に公約として実現すればよい。子育て支援の充実、役場の職場環境の改善など、町長として早急に実現すべき事項は他にもあると考える。

賛成



田中

義農大賞を更に発展させるため、様々な視点を持つ、町内団体や機関によって実行委員会を設立し、その団体に負担金を支出し、団体が自主的に義農大賞を運営することは、合理的な取組である。

町内の団体や機関が運営の主体となって取り組むことにより、行政主導ではなく民意を反映させた事業となり、より公正性かつ透明性を確保することができる。

また、新たな視点で事業を考えることにより「松前町の全国的知名度や認知度の向上」につながる効果も期待できる。

当初予算案は、義農大賞事業だけでなく、園児の安全を確保する保育所の改築工事、浸水被害の軽減を図る雨水貯留施設整備、地域防災の拠点となる消防詰所の新築工事など、町民の暮らしに直結する年間予算が計上されている。住民生活に支障が生じないよう、原案どおり承認すべきだ。

### 賛否が分かれた議案

○:賛成 ●:反対

議員名	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	伊賀上
議案番号												
19 (令和5年度一般会計予算)	●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●

※議長は採決に加わらない。

# 予算決算

令和5年度 当初予算

地域防災の拠点となる消防詰所の新築工事や、園児の安全を確保する保育所の改築工事など、町民の暮らしに直結する予算を可決

## ◎総務部所管

**問** ふるさと納税の返礼品の品目を増やす検討は。

**答** 100件を超える返礼品を準備しており、今後も返礼品の拡充に向け努力をしていく。

**問** DX推進事業は事業内容が前年度と同じにも関わらず、地方創生推進交付金の国費が付いているが理由は。

**答** 愛媛県・市町DX推進会議協働事業負担金に対し、2分の1の国費が付くことの確認が取れたため申請するもの。

**問** 仕事量が増えているにも関わらず、一般職の職員数が前年度から6人減っているが、妥当か。

**答** 妥当とは考えていない。国・県からの権限移譲や地方分権で業務は増え、一人当たりの業務過多を気にしている。今後、DX推進、RPA導入、それに並行して職員採用を行いたい。

**問** DX推進・業務効率化促進事業の、RPA導入費の内訳は。

**答** 基本的な使用料は約150万円、導入時の費用は約170万円、残りがサポート費用となる。サポート費用は、運用開始当初は必要だが、順応してくれば不要となる可能性もある。

**問** 救急安心センター事業の概要及び、町民に対する周知方法は。

**答** 専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口を、県と県下20市町全体で運用するもので、令和5年7月1日開始を目指している。

事業化に合わせ、県内で足並みを合わせて広報するようにしており、広報まさきや、ホームページで町民へ周知を行いたい。

## ◎産業建設部所管

**問** 夏祭り、まさき音頭の踊り区間の変更を予定しているが、参加団体に確認を取っているのか。

**答** 参加団体に確認は取っていない。夏祭り実行委員会では、今回は参加団体へのアンケートや承諾を得るのではなく、参加して頂ける団体を集めて進めたい。

**問** まさき音頭とフリースタイルダンスの2部制で実施した場合、参加する人はいるのか。

**答** まさき音頭の参加者は年々減少しており、キッズジャズダンス、フラダンスなど、様々なダンスサークルに参加の声かけをすることで、新たな参加者が見込まれる。

**問** 集客イベントとしての伊予高校との連携企画を予定しているが、事前に伊予高校に依頼をしているのか。

**答** 正式な依頼はしていないが、感触を確かめるため、相談はさせて頂いた。今後の交渉になる。



4年ぶりに開催！ 夏まつり、まさき音頭全体図（案）

**問** 観光物産振興事業の概要は。

**答** 大分県別府市の百貨店において、松山市以外の中予5市町が連携し、物産展を開催する。

本町の魅力を知ってもらっため参加する。

**問** 産業まつり「たわわ祭」において、ニーズに対応するようキッチンカーの出店を考えているとのことだが、出店するに当たり条件があるのか。

**答** キッチンカーも様々な車両がある。まだ具体的には何も決まっていない。今後詰めていく。

**問** 松前町観光協会に補助金を計上しているが、設立後、半年以上たっている。なぜ令和5年度からなのか。

**答** 本格稼働が令和5年度からであるため、令和4年度の補正予算での対応は行わなかった。町の姿勢として、観光協会を応援する考えは変わらない。

**問** 義農大賞実行委員会の委員報酬は。また、実行委員会を立ち上げていないのに、なぜ予算が計上できるのか。

**答** 義農大賞実行委員会の委員報酬は。また、実行委員会を立ち上げていないのに、なぜ予算が計上できるのか。

実行委員は、自らが賛同して動いて頂くため、謝金は組んでいない。  
また、予算も決まっていない段階で、実行委員会を立ち上げることの方が、話が通らないと考え、予算成立後に声かけをさせて頂くこととした。

**意見** 次回の義農大賞の応募用紙に、「義農大賞を何で知ったのか」という項目を入れることにより、効果検証を正しく行うことができるのでは。

**問** 町単独の一般町道整備は、計画的かつ公平に進められているのか。

**答** 地元からの要望があり採択した事業を行っている。その中で同じ地区が重複しないよう調整しながら事業を実施している。  
なお、町道西15号線道路測量設計業務は、地元事業とは別に北黒田海岸の整備に併せ、墓地の前の町道を拡幅するもの。

**問** 江川住宅外壁改修工事費の国庫補助対象及び補助率は。

**答** 住宅の改修工事には国の補助金対象になる部分と、対象外の部分があり、ベランダに張っている防鳥ネットなどは対象外である。  
今回は、工事費の6割を国補助金の対象と見込んでおり、その2分の1を国費として計上している。

江川住宅外壁改修工事費の国庫補助対象及び補助率は。  
住宅の改修工事には国の補助金対象になる部分と、対象外の部分があり、ベランダに張っている防鳥ネットなどは対象外である。  
今回は、工事費の6割を国補助金の対象と見込んでおり、その2分の1を国費として計上している。



住環境の改善として改修が望まれる江川住宅外壁

◎教育委員会所管

**問** 学校給食会に対して緊急支援の助成金を交付するが、次年度以降は。

**答** 物価上昇が落ち着くまでは、様子を見ながら検討していく。

**意見** 保護者に負担がかからないよう継続的な予算化に力を入れること。

**問** 学校生活支援員を7人増員した要因は。

**答** 対象児童は令和4年度から5人増え100名となった。なお、子どもの状況に応じて対応する支援員数が変わってくる。学校の状況を聞き、先生方の負担軽減を考えた結果である。

**問** 7人の増員に対し予算額が少ないが、妥当か。

**答** 学校生活支援員の要望を聞き、一人あたりの勤務日数や勤務時間を調整した結果、増員しても予算額は前年度と同水準で問題ない。  
現在、ホームページ等に掲載し、7人の確保に努めている。

**問** 現在、ホームページ等に掲載し、7人の確保に努めている。

現在、ホームページ等に掲載し、7人の確保に努めている。



**問** 地域部活動の指導者謝金は、休日出勤を想定した金額で予算化しているのか。

**答** 1時間当たり1600円、土日曜日、70日分である。人数は4人を想定している。

**問** GIGAスクール事業に関して、学習支援アプリ使用料に対し、情報通信技術支援業務の費用が高いのでは。費用対効果があるのか。

**答** 情報通信技術支援業務は、学習支援アプリ導入のための支援ではなく、学校に導入されているタブレットの使用方法的研修や総合的な形で先生方をサポートするもので、効果が高い。

**問** 前年度対比、GIGAスクール事業費が増額されているが、要因は。

**答** 令和5年度予算には、新規事業として学習支援アプリ使用料が計上されていること、GIGAスクール事業に計上するのが適切であるインターネット回線使用料等が他の事業科目から組み替えられたため増額した。

**問** 学校屋外トイレ防災整備を進めるに当たって、昨年来、国費や県費の補助が付くように動いている、との説明を受けていた。

**答** しかし、財源は町の地方債になつてはいるが、経緯は。

**答** 元利償還金が交付税措置される地方債があり、町にとって負担が少ない有利な方法と考え、令和5年度で北伊予小学校と松前小学校屋外トイレ改築工事を行いたい。



改修が望まれていた松前小学校屋外トイレ

**問** 学校教育施設の維持管理費は、年度により、ばらつきがある。計画的かつに公平に進められているのか。

**答** 学校の要望を聞き、安全性を一番と考え、優先順位をつけて実施しているが、予算に限りがある。補助金も利用しながら事業を進めていきたい。

**意見** 安全性を第一に考えるのは当然だが、あわせて、緊急性・計画性も含めて事業を進めること。

**問** 幼稚園費が前年度対比、増額されている要因は。職員の増減があつたのか。

**答** 年齢による職員給与の増加、光熱水費の上昇、廃棄物処理の費用の増加が要因である。職員数に増減はない。

**問** 園の統合に伴う、幼稚園費のコスト削減は。

**答** 施設を管理する費用は、一園分の光熱水費・委託料等の維持管理費で削減できる。職員の体制は検討中である。

**問** ふるさとライブラリー図書館システム使用料が予算計上されている。今後、毎年使用料を支払うだけの費用対効果はあるのか。

**答** また、町民への周知はできているのか。

**答** 新しいシステムでは非対面方式で本の自動貸出しが行え、蔵書管理も容易にできる。

町民には今後、ホームページ等を通じて周知していきたい。

**意見** 周知こそ住民サービスの向上につながる。広く周知すること。



非対面で本の貸出・返却が可能！

◎保健福祉部所管

**問** 地域敬老事業補助事業について、なぜ、従来の敬老イベントを止めて補助事業に変更したのか。

**答** これまでは敬老月間である9月に文化センターで敬老イベントを実施していた。  
しかし、文化センターに足を運べる高齢者に固定化され、多くの高齢者が恩恵を受けられていない状況であったことを踏まえ、敬老イベントを見直して新たな事業として地域敬老事業を企画した。

**問** 敬老事業を実施する行政区に補助金を交付することになるが、区長会に話をした反応は。

**答** 区長会には、まだ話をしていない。実施要綱がまとまり次第、地域の敬老事業に活用して頂くよう案内していきたい。

**問** 敬老事業を実施しない行政区に対して、必ず実施するよう行政からお願いするのか。

**答** 現在、既に実施している行政区は、今回の補助金を有効活用して頂ける。未実施の行政区は、

補助金をきつかけに、敬老事業の検討を呼びかけていく。

**意見** 今まで敬老イベントに参加していた方でも、実施しない行政区であれば、行きたくても行けなくなるのでは。

まず、区長会等に話をし、市民の声を聴いてから事業を企画すべきでは。

補助事業の情報が地域に行きわたるよう、周知すること。

**問**

姉妹都市健康交流事業について、令和4年度は累積歩数競争を6月から8月で実施したが、なぜ、令和5年度は実施時期を10月・11月に変更したのか。

**答** 令和4年度の表彰式は10月に開催される健康フォーラムで行うことと決めたため、その時期に実施した。

令和5年度は表彰式の時期が変更されたことで、実施時期を変更した。

**意見**

累積歩数競争では、同じ人が何度も受賞するのではなく、多くの方に受賞のチャンスを広げて頂きたい。

今後、まつまえ町と受賞の条件を話し合っしてほしい。

令和4年度 補正予算

◎総務部所管

**問** ふるさと納税の寄附の増加に伴い返礼品代金を増額するが、ポータルサイト使用料が追加計上されていない。支障ないのか。

**答** サイトに上げている件数、寄附を頂いた金額により様々な変動があり、返礼品代金とポータルサイト使用料を合せて増額するとは限らない。ポータルサイト使用料は計上している予算の範囲内で賄えると考えている。

**問**

財政調整基金費の補正額3億6899万円により、財政調整基金の残高は。また、その残高は適正か。

**答** 令和4年度末の見込額は10億2678万円である。一般的に財政調整基金の残高は、標準財政規模の一割程度が適正といわれている。本町に当てはめると約7億円になり、適正である。

**問**

市町振興に伴うイベント助成金の規模は。

**答** 県の市町振興協会の助成事業の予算額は一市町当たり600万円の規模である。

◎保健福祉部所管

**問** 粗大ごみ及び埋立ごみ運搬処理量が増加した要因は。

**答** ごみ減量の努力はしているが粗大ごみ・埋立ごみ両方の運搬処理量が増えている。粗大ごみの中には資源ごみも多く含まれており、資源ごみの運搬に関しては減っている。

**意見**

放置されている粗大ごみや、袋からはみ出している埋立ごみ等、ルール違反をしているごみを処理するために税金を投入することにならないよう、委託業者にヒアリングして、実態把握の検証を。



埋立ごみ ～ごみ出しルールを守りましょう～

# 総務産業建設

## 組織改正 町民課を保健福祉部から 総務部に移管

**問** 業務執行の効率化を図ることだが、具体的にどう変わるのか。

**答** 保健福祉部が、ワークチン接種や子ども家庭庁の創設等で業務が増大することから、町民課を総務部付けとする。これにより町民に影響がでないことはない。

**問** 職員の作業量を平準化するとというのが目的ではないのか。

**答** 部を統括する部長の業務量が保健福祉部は多すぎるため、総務部に移管することで部間の業務の平準化を図る。

## 町道に係る占用料の改正

**問** 町有地にある電柱等の占用料は、町が決めることができるのか。

**答** 町道の敷地内に電柱を立てる場合の占用料は、町が条例で定める。

**問** 思い通りの高架下をシルバー人材センターが利用していると聞いたが、占用料についての配慮などしているのか。

**答** 現在、利用しているが、土地の使用については直接協議を行い、占用料が必要になることを了承している。

**意見** シルバー人材センターは高齢者雇用対策の一つである。今後、経済面などの配慮を検討してもらいたい。

## 松前町庁舎空調設備改修工事の請負契約締結

**問** 空調設備の耐用年数及び設置後の保守費用は。

**答** 耐用年数は20年と考えており、保守費用については現在の設備で年間280万円程度かかっている。改修後の設備については改めて入札により決定するため、金額は上下する可能性がある。

# 文教厚生

## 幼稚園バスに、子ども置き去り防止装置が義務化

**問** 保育施設に対する補助は。  
**答** 上限はあるが国からの全額補助で、令和5年度当初予算に計上している。



## 利用者の利便性の向上のため、種類に応じた料金を設定

**問** 電気代が上昇しているが町の負担は。また料金の改定予定は。  
**答** 松前公園に限らず、今後は町所有施設の電気代等の上昇に応じて、見直しをする機会に改正を考える。

**問** 照明をLED化すれば電気代を抑えることができるのでは。  
**答** 早い段階で、LED化を実施する。

**意見** 利用者の負担が軽くなるようLED化を計画的に実施してほしい。



# 松前町議会・議員

## 表彰



本町議会は、地域の振興発展及び住民福祉の向上のため議会の活性化に努めていることが認められ、全国町村議長会より表彰されました。

今後、他の範となるよう、更なる活性化に努めるとともに、議員一人ひとりが常に町民の立場に立つて行政を監視していきます。

また、加藤博徳議員、村井慶太郎議員、藤岡緑議員は、松前町議会議員として多年にわたり地域の振興発展に寄与された功績をたたえ、同じく表彰されました。

おめでとうございます。



藤岡 緑 議員



村井 慶太郎 議員



加藤 博徳 議員

# 愛南町議会「活性化特別委員会」

## 視察研修受け入れ

日時：1月12日（木）10時

視察側：愛南町議会活性化特別委員

議長・議会事務局

受入側：議会運営委員会委員・議長

議会事務局

### 【式次第】

司会：議会運営委員長 田中周作

歓迎挨拶：議長 加藤博徳

挨拶：委員長 金繁典子

質問事項に対する回答：

議会事務局長 楠田匡志

質疑・応答及び意見交換

挨拶：副委員長 吉田茂生



視察目的の1つ目は、愛南町は本会議中心主義で議案審議しており、委員会中心主義で議案の審査をしている松前町議会の議会運営に関する調査・研究。

2つ目は、愛南町は議会だよりを発行していないため、議会広報常任委員会の主な活動状況及び、議会だより編集作業を調査・研究の視察。

事前に頂いていた質問事項に回答した後、質疑・応答、その後、意見交換を行った。多くの質問が出されるなど、活発な意見交換が行われ、大変有意義な研修会となった。



# 一般質問

## 4 議員が登壇

◆赤字項目を掲載しています。

### 藤岡 緑 議員 (14ページ)

- ◆少子化対策並びに子育て支援は。
- ◆本町のジェンダー平等や多様性についての見解は。
- DX推進の全体像と効果、今後の方針は。



### 影岡 俊範 議員 (14ページ)

- ◆「書かない窓口」導入の考えは。
- ◆農業振興に向けて有機農業への取組を行う考えは。



### 岡井 馨一郎 議員 (15ページ)

- ◆南黒田工業団地の現状と今後は。
- ◆ホッケーによる町づくりの具体的な考えは。



### 西村 元一 議員 (15ページ)

- ◆事業系一般廃棄物の処理は。
- ◆庁舎南側駐車場入口改善の検討は。
- 「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用した産業振興に係る事業は。
- 出合橋南側の渋滞改善策及びフジ前の信号機設置は。
- 塩屋遊水池排水ポンプ設置の経過及び効果は。



## 一部事務組合 令和5年度予算

### 伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 2億4984万円

- 分担金及び負担金 2億1735万円  
(内松前町分 1億1608万円)

### 伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 6億4490万円

- 分担金及び負担金 5億6980万円  
(内松前町分 2億6839万円)
- 可燃ごみ焼却処理を松山市に委託

### 伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2億8790万円

- 分担金及び負担金 1億6574万円  
(内松前町分 8114万円)
- 出身地別措置者数(令和5年3月31日現在)  
松前町 … 18人 伊予市 … 10人  
砥部町 … 3人 組合外 … 10人

### 伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 24億4262万円

- 分担金及び負担金 20億4352万円  
(内松前町分 6億1478万円)
- 斎場「聖浄苑」建替え事業

※ 1万円未満は切り捨てて表示しています。



藤岡 緑 議員

**問** これからの少子化対策並びに子育て支援についての考えは。

**答** 安心して子育てできる切れない支援、環境づくりのための施策に取り組んできた。

具体的には、町内全校区の放課後児童クラブ施設整備、松山圏域3市3町による婚活支援事業、松前町子育て世代包括支援センター「はぐはぐ」の開設による妊娠前から子育て期にわたる相談・支援の提供、病児保育の実施、中学卒業までの医療費無償化、地域で親子が自由に交流できる子育てサロンやサークル活動の支援など。

また、本町では、正規職員と会計年度任用職員を対象に育児休暇や看護休暇の拡充を行った。

さらに、県の創設した「えひめ人口減少対策総合交付金」の支援メニュー別の事業を活用して新たな取組を研究していきたい。



**問** 人権を尊重する町づくりを推進する松前町のジェンダー平等や多様性についての考えは。

**答** 平成14年3月に「松前町思いやりとぬくもりのある人権尊重の町づくり条例」を制定し、ジェンダー平等やLGBTQなども含めた人権の啓発や教育に取り組んでいるところである。

例えば、行政窓口への提出書類の対応について、性的マイノリティの人々の中には自分の性別に違和感を持ち、各種申請書等に性別記載欄があった場合、男女のみの選択肢から選ぶことに苦痛を感じる方もいる。

本町では当事者に寄り添った取組として、やむを得ない場合を除き、性別記載欄を削除することを検討している。



影岡 俊範 議員

**問** 町民目線でのDX「書かない窓口」への取組は。

「窓口一本化」のバックグラウンドではRPAがフル稼働している。

**答** デジタル技術を活用した窓口手続の簡素化は、非常に重要な課題だと認識している。

令和4年度から、住民票の写し、住民票記載事項証明書及び印鑑登録証明書について、マイナンバーカードや免許証を機械に読み込ませることで、自動的に申請手続が完了し、最後に署名するだけで受け取ることができるサービスを開始した。

今後は、「書かない窓口」と、一か所の窓口で多くの手続を完了できる「窓口の一本化」を併せて実施したいと考えている。

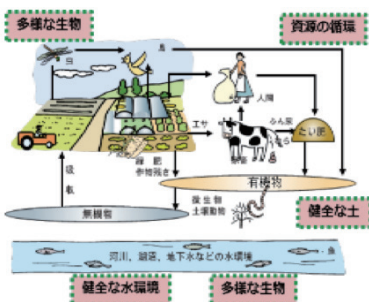
**問** 有機農業による持続可能な地域づくりは。

**答** 有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行う農業である。

本町では1法人が有機農業で米や野菜の大規模栽培に取り組んでいる。

面積は31haで、町内の農地面積の約3.6%に相当し、全国の農地面積に占める有機農業面積は0.6%であり、それを上回っている。

人や自然にやさしい農業であり、今後、消費者の健康志向が高まり、有機農業による農産物のニーズも増加することが予想され、取組を検討していく必要があると考えている。



出典：農林水産省 Web サイト (www.maff.go.jp)



岡井 馨一郎 議員

**問** 南黒田工業団地の整備事業の経過と今後の予定は。

**答** 平成16年に地権者から同意を得て工業団地の開発について伊予市と協議を行ったが、近隣住民から諸々の懸念が示され、平成22年に進出予定企業が撤退するに至った。しかし、工業団地による土地利用が適していると結論し、平成28年に対策案がまとまり隣接する住民への対応を続け、令和2年度にまちづくり課に都市計画室を設置し事前協議を行った。

令和3年度に行った県内企業への調査で立地を見込まれる企業が5社あり、今後は関係法令の手続を経て工事に着手し、令和9年度末には完了させたい。

**意見** 地権者も高齢化しており予定どおりの完成を心より望む。



熱戦が繰り広げられた「まさきカップ」

**問** ホッケーの町づくりのための普及と発信は。

**答** 現在、実施中の学校のクラブ活動や放課後子ども教室でのホッケー体験を通じ、競技に取り組む児童・生徒を増やしていきたい。今後はプラスチック製スティックや柔らかいボールを使用し、健康増進にもつながるよう幅広い年代に普及することを研究したい。

毎年3月に西日本の中学生による「まさきカップ」を開催。伊予高校女子ホッケー部は創部一年目で全国大会に出場。男子ホッケー日本代表の強化合宿等、イベントや大会を開催し、競技力の向上と普及に努めながら「ホッケーの聖地松前町」を目指していきたい。



西村 元一 議員

**問** 松前町の焼却ゴミが4月から、伊予市の三秋から、松山市の西クリーンセンターに変わりますが、事業系一般廃棄物の計量を、三秋と西クリーンセンターで計量？なぜ西クリーンセンターの1か所で処理できないのか。

**答** 関係機関と協議を重ねた結果、事業系一般廃棄物は中継施設では計量を要せず、車両確認のみを行った後、松山西クリーンセンターに持ち込むことを松山市が承諾した。伊予地区清掃センターや伊予市と協議し、中継施設を松前町の不燃物置場とすることが決定した。現在、4月1日から実施できるよう関係機関と調整している。



**問** 庁舎前駐車場の出入口の改善は。

**答** 庁舎前駐車場の出入口は、昨年の12月議会において提案された入り口と出口を別々にし、県道の車道と歩道の境界部分の傾斜についても、工事に向けた設計作業を行っている。

町民の声

議会質問の内容に興味

西古泉 今木 芳夫

大字の役員に携わって今年で三年目になります。

それまでは広報や議会だよりを見ても広く浅く目を通すだけで、深く考えていませんでした。ところが役員を引き受けてからは、役目上、町の財政の状況に関心を持つようになり、また議会での質問内容等にも興味を持てるようになり少しずつ町の

中身が理解できるようになりました。

町議会の傍聴にも積極的に参加し、松前町民の一人として少しでも町の発展に寄与して行きたいと思っております。

松前町民となつて50年が経とうとしていきます。恥ずかしい話ですが、今さらいい年をして何をと言われるかもしれませんが、やっと気付くことができました。

今回このような発言の場を頂き、深く感謝しております。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは7月末です。  
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。  
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631  
議会広報常任委員会「町民の声」係  
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】  
6月13日(火)~27日(火)

一般質問 6月19日(月)

インターネット  
配信やっています



表紙から一言



卒業生の皆さんの中学校生活は、

新型コロナウイルス感染症の影響で、行事を中止したり、様々な制限により実施したりする中での3年間だったのではないのでしょうか。

そのような状況の中でも、自分たちができることを考え、友達と協力しながら楽しく過ごしたことでしよう。また、勉強や部活動などにも一杯頑張ったことでしょう。

これからも試験に耐えるべき時があると思いますが、何事も恐れず、逃げ出さず、自分の夢に向かって大きく羽ばたいてほしいです。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が鎮静化している中で、卒業式、入学式が行われました。

徐々に日々の生活がコロナ発生前に戻るとともに、議会活動も研修等含めて、積極的に進めていきたいと思っております。

(西村 二元)

議会広報常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 稲田 輝宏  |
| 副委員長 | 曾我部 秀司 |
| 委員   | 住田 英次  |
| 委員   | 田中 周作  |
| 委員   | 影岡 俊範  |
| 委員   | 渡部 惠美  |
| 委員   | 西村 元一  |

